

野村洋三顕彰会

大野町が生んだ郷土の偉人、野村洋三（幼名：梅太郎、明治3年大野町公郷出身）翁の偉業とひととなりを顕彰し、人づくりやまちづくり、そして横浜との交流をとおして経済や産業の活性化を生むような地方創生に寄与できたらとの願いを持って、この会を発足いたしました。

洋三翁は早稲田大学の前身で学び、当時札幌農学校助教授 新渡戸稲造とアメリカ帰りの船中で出会い、新渡戸から「君は経済活動で太平洋の架け橋となりなさい」と諭され、帰国後に武士道の精神を世界に広める商法をすればよいと達観し横浜で後に世界的に有名となる「サムライ商会」という古美術店を営みました。そして仕事を通じた知遇を日本の政財官界と世界の政財官の橋渡し役として活躍しました。

大正12年の関東大震災では、原三溪と箱根芦之湯 別荘去来山荘で遭遇。三溪は生糸貿易復興会長、横浜市復興会長となり、洋三は復興事務局長として縦横無尽に活躍しました。三溪と共に岐阜出身の二人が横浜の復興を成し遂げた原動力となったのであります。（／）

横浜の復興が一段落した頃、ホテルニューグランドの役員となり昭和13年には経営を任せられ会長に就任。あだ名は「ミスターシェイクハンド」、毎朝ホテルの宿泊客に挨拶しながら握手し、港の周辺を散歩する姿は横浜の人なら知らない者がいない程の名物でした。

また、横浜商工会議所会頭や日米文化交流協会会長など横浜の発展に尽力して、昭和40年90歳でなくなりました。

郷里においては、まだまだこうした野村洋三翁の偉業や翁自身についてあまり知られていません。

ぜひ、洋三を知り、洋三に学びたいと思います。そして大野町から横浜そして世界の懸け橋となりましょう。

会 長 橋本 章



会 報 | 創刊号



ミスター シェイクハンド



～太平洋をかける橋 野村洋三に学ぶ

関東大震災後の横浜の復興に原三溪と共に尽力。ホテルニューグランド会長として毎朝、宿泊客に握手をして接客した洋三は、「ミスターシェイクハンド」と呼ばれ、戦後には横浜商工会議所会頭となり、日米協会やロータリークラブを立ち上げ、経済・文化界の横浜の顔として、世界の懸け橋となり活躍しました。



野村洋三顕彰会の成り立ち

平成27年12月3日4日と原三溪柳津文化の里構想実行委員会主催の「横浜三溪園特別参観と文化講演会」バスツアーに大野町の野村洋三に関心を寄せる有志が参加したところ、野村家御当主もお出ましされました。

そして参加者であった揖斐川町出身の所功先生から、近現代の地元名士を顕彰する必要性を諭され、一気に野村洋三顕彰熱が高まり、準備委員会が発足し、講演会や横浜スタディバスツアーを企画実施するところとなり、昨年末に顕彰会へと発展しました。



設立総会 | 2016年12月23日

大野町総合市民センター2階会議室で、来賓には、国枝県会議員、宇佐美大野町長、広瀬元柳津町長（原三溪柳津文化の里構想実行委員会会長）の隣席のもと、30名ほどの参加者を得て行われました。



= 組織・役員構成 =

顧 問	宇佐美 晃三、野村 弘光、所 功 村上 義紀、森本 晴生、丸山 幸太郎
会 長	橋本 章
副 会 長	井上 保子
事 務 局 長	林 憲和
事務局次長	丹羽 悟
会 計	岩崎 正人
監 査	杉山 紘治、長澤 敦

入会のご案内

洋三を知り、洋三に学んでみませんか

原三溪・野村洋三に関心のある方なら誰でも入会でき、入会の時期はいつでもかまいません。会費は個人会員が年額1,000円、法人会員の会費は年額10,000円です。別紙「入会申込書」に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはFAXでお送りくださるか、野村洋三顕彰会ホームページ（※近日公開予定）からお申し込みください。

住 所 | 〒501-0513 大野町大野742-111
野村洋三顕彰会 会長 橋本 章

電話・FAX | 0585-34-2970
ホームページ | ※ 近日公開予定

2016年-2017年の活動

定例会議

日時 | 毎月第1水曜日 午後7時から
場所 | 大野町3区集会所にて

報告 第1回 講演会「郷土の先人 野村洋三を知ろう」

日 時 | 2016年9月17日
場 所 | 大野町総合市民センター多目的ホール

= 内 容 =

「人物顕彰と人づくりから町づくり、そして地方創生へ」

講 師 : 所 功 (京都産業大学名誉教授)

「祖父 野村洋三と横浜」

講 師 : 野村 弘光 (横浜 野村家当主、昭和7年10月7日生、
ホテルニューグランド取締役・三溪園理事)

「原三溪と野村洋三の出会い」

講 師 : 村上 義紀 (元早稲田大学副総長・常務理事)



約300名の参加があり、
盛大に行われました。



報告 ゆかりの地を訪ねるスタディツアー 第1弾

原三溪・野村洋三 横浜スタディツアー
横浜三溪園特別参観と文化講演会 ～ 横浜との交流の旅

日 時 | 2016年11月28日～29日
岐阜から45名、横浜・東京から20名の経済・文化・教育関係の参加があり交流をしました。



臨春閣前にて



宇佐美大野町長から松ヶ岡文庫
へ「野村もみじ」の目録贈呈式



熊倉功夫 静岡文化芸術大学
前学長の文化講演会
「三溪翁の茶と人となり」

報告 鎌倉東慶寺、松ヶ丘岡文庫 への「野村もみじ」記念植樹

日 時 | 2016年1月24日

洋三のお墓のある東慶寺と終生の友として親交のあった鈴木大拙の研究
所である松ヶ丘文庫の二か所で大野町長名で顕彰会設立記念で植樹



野村洋三の墓前で東慶寺住職による
読経



洋三が松ヶ丘文庫に寄贈した
観音座像



案内 第2回 講演会「郷土の先人 野村洋三を知ろう」

日 時 | 2016年9月2日 (土) 午後1時半～
場 所 | 大野町総合市民センター 2Fシアタールーム

= 内 容 =

「野村洋三の生涯と原三溪」 講 師 : 丸山 幸太郎 岐阜女子大学教授

「新渡戸稲造との出会い」 講 師 : 森本 晴生 新渡戸文化学園学長

洋三の人生は、二人の偉大な親友 三溪と稲造との交流が大きく影響しました。
その親友二人の人生と共に洋三の人生をお二人の専門家の先生から学びたいと思います。

案内 ゆかりの地を訪ねるスタディツアー 第2弾

北鎌倉・箱根めぐり ～ 東慶寺・松ヶ岡文庫特別参観と講演会

日 時 | 2017年11月26日～27日
講 演 | 「(仮) 宗演と洋三と大拙」 芳澤 勝弘 (花園大学国際禅学研究所顧問)



鎌倉 東慶寺

原家や野村家の菩提寺でゆか
りの方々のお墓も多数ある



箱根 白雲洞

箱根強羅公園内の三溪と洋三
が関東大震災時に宿泊してい
た別荘



きのくにや旅館

洋三の夫人 みちの生家300年
続く箱根の塔ノ沢温泉の名湯
た別荘